

## 平成 16 年度 事業計画書

(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

財団法人インターネット協会は、世界規模で急激に進展するインターネットの健全かつ一層の発展を推進することを主たる目的として平成 13 年 7 月 1 日に設立されました。

これらの目的遂行のため、財団法人インターネット協会では、インターネット関連技術の調査研究、インターネットの普及促進、セミナー開催などに加え、インターネットを利用する上でのルール&マナーの普及や各種国際協力に貢献してきました。

最新のデータによると、携帯電話からのアクセスを含むわが国のインターネット利用者数は約 7 千万件であり世界第 2 位、特に携帯電話のインターネット対応率は世界で最も高くなっています。また、ブロードバンド環境も引き続き急速に進んでおり、特に最近では光ファイバーの契約数の伸びが顕著になっています。

このような状況下において財団法人インターネット協会としましては、インターネット利用の普及促進という当初の目的は実現しつつあると考え、今後の活動の中でこれまでの活動テーマについては随時見直しを行い、政府における公益法人制度抜本見直しの動きとも関連し、真に意味のあるテーマに取り組むよう努力します。このため平成 16 年度は従来の活動に捉われることなく、以下を重点活動テーマとしてインターネット利用の一層の普及促進を図ることとします。

### アジアパシフィックとの連携の強化

中国、韓国のインターネット協会との連携により、アジアパシフィック地域のブロードバンド化の推進を検討する。アセアン諸国とも連携を図り、アジアのブロードバンド化へ向けて必要な検討を行う。

### 次世代を担う人材の育成

インターネットに関する最新技術を有する技術者の育成を図る。このためインターネット利用に関する検定の実施、リテラシー向上および専門技術者の育成の教育、研修の実施などを通して、あらゆる面でのインターネット次世代を担う人材の育成を図る。

### 地域情報化支援

地域のインターネット利用促進をはかり、利用者層、地域、空間にかかわらず便利かつシームレスにインターネットが利用できる環境作りについて引き続き検討する。

会員向けサービスとして、主管両省との関係を密にし、政策説明会を適宜開催すると同時に、類似の目的を持つ関連他団体とも交流を深め情報交換を密に行うこととします。

## 1. 自主事業

### 1 - 1 調査研究活動

#### 1) 研究部会活動

主として会員を中心に、セキュリティ部会（BlackHat Japan2004、他）、Java部会（地域セミナー、他）、ブロードバンド部会（ABS2004 対応、他）など重要なテーマ毎に研究部会を設置し、勉強会、セミナーなどを地域とも協力して実施する。テーマは随時見直して最新の技術、システム、機器について調査研究する。

#### 2) IPv6 普及促進支援

e Japan 重点計画の、IPv6 が実装されたインターネット環境という最終目標を 2005 年に控えて、インターネット協会として IPv6 の一層の普及促進のため、平成 15 年度に引き続きビジネスサミット、テクニカルサミット、地域サミットなどの諸活動を積極的に行う。また、関連する組織・団体と協力し、国際会議等に参加して調査研究、報告会などを実施する。

### 1 - 2 普及促進および出版活動

#### 1) イベント・セミナー

インターネット関連技術の最新動向の普及・指導を目的としたイベント、セミナーを行うと同時に他団体が主催する同様な目的のイベントを協力支援する。同様な目的のイベントが数多く企画されていることから、他団体との協力、分担をはかり、費用対効果得られるよう検討する。

主管省を中心とする政策説明会や、会員相互の情報交換のための IAjapan 定例セミナーを開催する。

#### 2) 出版活動

機関誌 IAjapanReview の発行（年 4 回）およびインターネット白書（年 1 回）の監修を行う。ルール&マナー検定に関するテキストなどの発行を検討する。

### 1 - 3 教育、研修活動

#### 1) ルール&マナー、リテラシー検定

インターネットの利用技術、利用マナー、危険回避等に関する知識を子供から大人まで全ての人に、家庭、学校、企業など全ての場所で普及させるため、ルール&マナー集の改訂を行い、同目的のルール&マナー検定を行う。リテラシー検定、高度な専門知識に関する検定についても関連機関、企業等と協力して行う。

## 2) 研修活動

技術者育成を目的とした研修活動を行う。これまでにネットワークオペレータ研修、ネットワークエンジニア研修を実施してきたが、これら実績をもとにして、研修内容、対象を広げ、インターネット協会独自の活動として実施していく。

## 1 - 4 国際活動

### 1) AsiaPacific Broadband Summit(ABS) 2004 開催支援

中国および韓国のインターネット協会と連携を深め活動を推進していく。また、3回目の開催となる「AsiaPacific Broadband Summit 2004」(ソウル)の開催支援を行う。

### 2) その他国際協調活動

IETFなどの活動に協力し広く情報提供を行う。APRICOT(アジアパシフィック地域インターネット会議)が予定している、わが国初の開催(APRICOT2005 京都)に関し活動支援を行う。

## 2. 受託事業

### 2 - 1 国庫受託事業

#### 1) コンテンツレイティング及びフィルタリングに関する調査研究事業

コンテンツレイティング及びフィルタリングに関する調査研究を行う。サービス提供のための運用を引き続き行うと同時に、今後のあり方について連絡協議会で検討する。また、関連省庁、自治体、学校その他と緊密な情報交換を行い、本システムの普及促進を図るとともに内外のコンテンツレイティング及びフィルタリングに関する動向調査を行う。

#### 2) モバイルフィルタリング技術の研究開発事業

携帯電話によるインターネット利用が急速に伸びていることに考慮し、モバイルインターネットに関するフィルタリングシステムの研究開発を行う。